



## 2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年10月13日

上場会社名 株式会社 スーパーツール  
コード番号 5990 URL <http://www.supertool.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平野 量夫

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 総務部次長 (氏名) 高塚 博

TEL 072-236-5521

四半期報告書提出予定日 2023年10月26日

配当支払開始予定日

2023年11月16日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年3月16日～2023年9月15日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	3,084	15.3	202	37.6	214	35.9	146	34.4
2023年3月期第2四半期	3,639		324		334		223	

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 196百万円 ( 3.8%) 2023年3月期第2四半期 203百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	63.32	
2023年3月期第2四半期	102.29	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	13,198	10,536	79.8
2023年3月期	12,982	10,395	80.1

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 10,536百万円 2023年3月期 10,395百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		35.00		35.00	70.00
2024年3月期(予想)		35.00		35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年3月16日～2024年3月15日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,600	5.5	550	5.0	560	4.1	400	9.8	172.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	2,366,078 株	2023年3月期	2,366,078 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	37,836 株	2023年3月期	50,825 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	2,318,937 株	2023年3月期2Q	2,187,870 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9
(重要な後発事象) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスに起因する行動制限の緩和による経済活動の正常化が進み、個人消費や設備投資などの持ち直しが見られる一方で、ウクライナ情勢の長期化などによるエネルギー価格や原材料価格の高騰、世界的な金融引締めに伴う影響や中国の景気減速など依然として先行きの不透明な状況で推移しております。

このような状況のなか、金属製品事業につきましては、販売拡大、ブランドイメージ向上及び認知度向上を目指した取り組みに注力しながら、主要製品のキャンペーンなどの販促企画実施や全国各地で活発に行われる各種展示会への出展など積極的な営業活動を行ってまいりました。また、ユーザー目線に立ち、さらなる利便性向上を目指した独創的な製品開発に取り組むとともに、製品の安定供給を目指し、製造関連取引先との関係強化に努めながら当社の主力製品の生産能力増強及び生産効率向上のための生産設備導入や改修などを実施し、収益の安定化に取り組んでまいりました。

一方、環境関連事業につきましては、依然として厳しい事業環境が継続するなか、太陽光発電所の施工などに注力しながら、収益確保に努めてまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,084百万円（前年同四半期比555百万円減、15.3%減）、営業利益は202百万円（前年同四半期比121百万円減、37.6%減）、経常利益は214百万円（前年同四半期比120百万円減、35.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は146百万円（前年同四半期比76百万円減、34.4%減）となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメント別の業績は次のとおりであります。

#### (金属製品事業)

国内市場では、作業工具の分野においては、豊富なラインナップと作業効率向上に有用な機構が付加されたレンチ類や、様々な機械のメンテナンスに適したプラー類が堅調に推移いたしました。また、産業機器の分野については、作業性と安全性を兼ね備え、あらゆる荷役作業に対応した吊クランプ類が効果的な販売施策により順調に推移いたしました。

海外市場においても、主要製品の吊クランプ類の販売に注力するなか、当社の主要市場である韓国では、造船関連分野向け製品の売上高が順調に推移しました。その他の地域においても、安全性と日本製であることをアピールポイントとし、顧客との協議を重ね、関係強化に努めるとともに的確な市場状況の分析による効果的な販売施策の取り組みなど積極的な営業活動に取り組みました。

一方でエネルギー価格や原材料価格の高騰などにより、原価全体が高止まりで推移するなか、原価低減活動を進めておりますが、6月度以降の受注分より順次価格改定を実施しております。

これらの結果、当セグメントの売上高は2,695百万円（前年同四半期比68百万円増、2.6%増）、セグメント利益は363百万円（前年同四半期比93百万円減、20.4%減）となりました。

#### (環境関連事業)

取り巻く事業環境は依然として厳しさが続くなか、より一層の筋肉質な事業体制構築を目指し、自然環境への配慮や設置コスト、発電効率面で優位性のある水上設置型太陽光発電所の施工および関連部材の販売に努めてまいりました。なお、売電部門では、3ヵ所の発電所が順調に稼働しており、収益の安定化に寄与しています。

これらの結果、当セグメントの売上高は388百万円（前年同四半期比623百万円減、61.6%減）、セグメント利益は35百万円（前年同四半期比33百万円減、48.3%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比1.7%増の13,198百万円（前連結会計年度は、12,982百万円）となり前連結会計年度末に比べ215百万円増加しました。

この主な要因は、流動資産では、現金及び預金の増加445百万円、受取手形及び売掛金の減少358百万円等であり、固定資産では、有形固定資産のその他（純額）に含まれる建設仮勘定の増加201百万円、機械装置及び運搬具の減少46百万円等であります。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末比2.9%増の2,662百万円（前連結会計年度は、2,587百万円）となり前連結会計年度末に比べ75百万円増加しました。

この主な要因は、流動負債では、前受金の増加45百万円、支払手形及び買掛金の増加30百万円、未払金の増加19百万円、返金負債の増加10百万円等であり、固定負債では、長期借入金の減少49百万円等であります。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末比1.4%増の10,536百万円（前連結会計年度は10,395百万円）となり前連結会計年度末に比べ140百万円増加しました。

この主な要因は、その他有価証券評価差額金の増加47百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上146百万円、配当金の支払いによる減少81百万円等であります。

## ②キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ445百万円増加し1,881百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動においては、売上債権の減少358百万円、減価償却費96百万円、前受金の増加45百万円、税金等調整前四半期純利益215百万円等により、807百万円資金が増加（前年同期比767百万円の資金増加）となりました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動においては、有形固定資産の取得による支出228百万円等により233百万円資金が減少（前年同期比135百万円の資金減少）となりました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動においては、配当金の支払額81百万円、長期借入金の返済による支出49百万円により131百万円資金が減少（前年同期比676百万円の資金減少）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2023年4月27日付「2023年3月期決算短信[日本基準]（連結）」にて発表いたしました業績予想に変更はありません。

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社グループが現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月15日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月15日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,446,638	1,891,662
受取手形及び売掛金	1,469,627	1,111,160
商品及び製品	1,678,240	1,637,352
仕掛品	1,199,820	1,233,326
原材料及び貯蔵品	431,088	459,568
前渡金	314,180	308,261
未収入金	11,125	5,519
その他	119,902	37,976
流動資産合計	6,670,623	6,684,826
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	367,234	353,217
機械装置及び運搬具(純額)	779,578	732,972
土地	4,544,607	4,544,607
その他(純額)	77,819	279,509
有形固定資産合計	5,769,240	5,910,307
無形固定資産	56,364	52,499
投資その他の資産		
投資有価証券	332,309	403,634
繰延税金資産	116,453	111,230
その他	37,921	36,213
投資その他の資産合計	486,683	551,078
固定資産合計	6,312,288	6,513,884
資産合計	12,982,912	13,198,711

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月15日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月15日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	417,034	447,538
1年内返済予定の長期借入金	99,960	99,960
未払金	166,772	186,709
返金負債	57,291	67,296
未払法人税等	91,640	100,944
前受金	97,468	143,264
賞与引当金	48,556	47,036
その他	67,018	71,958
流動負債合計	1,045,741	1,164,707
固定負債		
長期借入金	337,660	287,680
再評価に係る繰延税金負債	1,022,632	1,022,632
退職給付に係る負債	180,101	186,264
その他	1,002	1,002
固定負債合計	1,541,396	1,497,579
負債合計	2,587,137	2,662,287
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,235,090	2,235,090
資本剰余金	1,167,519	1,163,598
利益剰余金	4,663,468	4,729,296
自己株式	△114,790	△85,408
株主資本合計	7,951,288	8,042,577
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	127,771	174,969
土地再評価差額金	2,317,100	2,317,100
為替換算調整勘定	△386	1,777
その他の包括利益累計額合計	2,444,485	2,493,846
純資産合計	10,395,774	10,536,424
負債純資産合計	12,982,912	13,198,711

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月16日 至 2022年9月15日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年3月16日 至 2023年9月15日)
売上高	3,639,978	3,084,791
売上原価	2,674,922	2,233,658
売上総利益	965,056	851,133
販売費及び一般管理費	640,823	648,660
営業利益	324,232	202,473
営業外収益		
受取利息	9	9
受取配当金	6,525	5,713
為替差益	15,258	1,090
未払配当金除斥益	79	—
助成金収入	—	4,470
その他	1,642	2,334
営業外収益合計	23,516	13,619
営業外費用		
支払利息	1,851	1,476
株式交付費	9,220	—
その他	2,380	332
営業外費用合計	13,452	1,808
経常利益	334,296	214,283
特別利益		
固定資産処分益	—	818
特別利益合計	—	818
特別損失		
固定資産除売却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	334,296	215,101
法人税、住民税及び事業税	118,185	83,853
法人税等調整額	△7,683	△15,607
法人税等合計	110,501	68,245
四半期純利益	223,795	146,856
親会社株主に帰属する四半期純利益	223,795	146,856



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月16日 至 2022年9月15日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年3月16日 至 2023年9月15日)
四半期純利益	223,795	146,856
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△19,154	47,197
繰延ヘッジ損益	△1,130	—
為替換算調整勘定	401	2,163
その他の包括利益合計	△19,883	49,360
四半期包括利益	203,911	196,217
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	203,911	196,217
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月16日 至 2022年9月15日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年3月16日 至 2023年9月15日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	334,296	215,101
減価償却費	93,290	96,225
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2,898	△1,520
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△8,148	6,163
受取利息及び受取配当金	△6,534	△5,723
支払利息	1,851	1,476
為替差損益 (△は益)	△14,798	△748
有形固定資産除売却損益 (△は益)	0	△818
助成金収入	—	△4,470
売上債権の増減額 (△は増加)	△382,285	358,466
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△310,991	△21,098
仕入債務の増減額 (△は減少)	132,350	30,504
前受金の増減額 (△は減少)	△75,035	45,796
前渡金の増減額 (△は増加)	374,169	5,919
未収入金の増減額 (△は増加)	31,123	5,606
未払金の増減額 (△は減少)	△60,790	19,935
返金負債の増減額 (△は減少)	56,242	10,004
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△21,581	92,936
その他	27,304	19,066
小計	167,563	872,824
利息及び配当金の受取額	6,534	5,722
利息の支払額	△1,837	△1,456
法人税等の支払額	△132,660	△75,454
法人税等の還付額	0	905
助成金の受取額	—	4,470
営業活動によるキャッシュ・フロー	39,600	807,012
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△92,502	△228,306
投資有価証券の取得による支出	△3,676	△3,297
無形固定資産の取得による支出	△2,200	△3,580
その他	438	1,603
投資活動によるキャッシュ・フロー	△97,940	△233,580
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△49,980	△49,980
自己株式の取得による支出	△29	△279
配当金の支払額	△60,656	△81,027
新株発行による収入	655,766	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	545,100	△131,287
現金及び現金同等物に係る換算差額	14,710	2,878
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	501,471	445,023
現金及び現金同等物の期首残高	1,652,342	1,436,566
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,153,813	1,881,589

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年7月7日開催の取締役会決議に基づき、当社の取締役等（監査等委員である取締役及び社外取締役を除く）に対する譲渡制限付株式報酬として自己株式の処分を行いました。この処分により自己株式は29,661千円（13,133株）減少いたしました。この結果、当第2四半期連結会計期間末において、自己株式は85,408千円となりました。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2022年3月16日 至 2022年9月15日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	金属製品事業	環境関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,627,134	1,012,844	3,639,978	—	3,639,978
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,627,134	1,012,844	3,639,978	—	3,639,978
セグメント利益	456,730	68,951	525,681	△201,448	324,232

(注) 1 セグメント利益の調整額△201,448千円には、セグメント間取引消去1,307千円、及び各報告セグメントに配分していない全社費用△202,756千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2023年3月16日 至 2023年9月15日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	金属製品事業	環境関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,695,867	388,923	3,084,791	—	3,084,791
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,695,867	388,923	3,084,791	—	3,084,791
セグメント利益	363,367	35,659	399,027	△196,553	202,473

(注) 1 セグメント利益の調整額△196,553千円には、セグメント間取引消去1,044千円、及び各報告セグメントに配分していない全社費用△197,598千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。